

会 議 記 録

会議名称	第10回忠類地域住民会議
開催日時	平成27年12月25日（金）13:30～16:24
開催場所	忠類総合支所2階小会議室
出席者	委員長、委員14名中出席者10名、事務局6名
次 第	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議題 (1) 合併後10年の検証について（忠類地域の現状と将来像） 4 閉会
会議概要	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議題 (1) 合併後10年の検証について（忠類地域の現状と将来像） <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化する住民が安心して住める環境の充実をお願いしたい。観光面では高規格道路沿いに桜を植樹するなど、公園化をPRする。教育・医療が良ければ人を呼び込むことも可能ではないか。商工業・農業は品質向上・労働体系改善し、人材を育てていかなければならない。 ・大きなビジョンとして忠類の人口3,000人を目標とし、具体的に活動していきたい。インパクトと住民間の共通認識が必要。 ・住民一人ひとりが具体的な数字を目指す意識ができ、共有できたら目に見えない効果がある。 ・提言は具体的なものが良い。人口目標3,000人は夢のまた夢。1,800～2,000人の望みのある数にしてほしい。 ・忠類の問題は人口減少。活性化のためには農業振興を考えるべき。 ・離農跡地にすぐ就農できる体制づくりに力を入れてはどうか。 ・農業に力を入れることによって、それを取り巻く産業も活性化する。いかに新規就農者の人材育成をするか認識が必要。 ・観光で流動人口を増やして、その中から定住人口増に結び付けていく。各団体に垣根があるため持てる力が発揮できていない。 ・修学旅行生を農家民泊で受け入れている「稔の里」の形で、大人を受け入れてはどうか。 ・就業を目的に農業を体験させるためにはそれなりの設備が必要。別海町や新得町を見て研究しながら考えていく必要がある。 ・産業がないと定住は難しい。花や物産で中札内村を真似ても面白い。 ・施設を作れば裕福になるのか。個人の思いや努力が地域を魅力的なものにする。仕事が忠類になくても住んでもらえるまちづくりも欠かせない。 ・子どもが少ないながらも良いところがあるとアピールを。 ・人口増の方法としてふらっと忠類を拡充すれば、そこで働く介護士も増える。住宅問題のクリアが課題。 ・合併後10年経つので町全体を考えたい。忠類と幕別の繋がりがないと地域も伸びない。 ・シーニックカフェの場所は非常に良いが、牧場なので防疫上の問題もある。 4 閉会